

GUEST ATHLETE アメリカ、ギリシャでもプレー経験のある国際アスリート

三元大輔選手 車いすバスケットボール



三元大輔（滋賀県出身）16歳の頃に発症した癌を克服した車いすバスケットボール選手。

海外でのプレー経験が長く、アリゾナ大学とテキサス大学でプレー
テキサス大学時代は日本人史上3人目の全米大学選手権優勝を果たした。
2023年はギリシャリーグでプレーし準優勝を獲得した国際派車いすバスケットボールプレーヤー。

PROFILE

三元選手のプロフィール

今回、皆さんの学校に訪問する、パラアスリート三元選手のプロフィールの一部をご紹介します。
他にも聞いてみたいことがあつたら伊藤選手に質問してみよう！



普段の活動は？

アスリートとして競技中心の生活をしていますが、自分の練習や試合以外にも全国の学校や企業でパラスポーツでの講師をしています！



競技との出会いは？

癌でサッカーができなくなりましたが車いすでできるスポーツを探していたら車いすバスケットボールと出会いました！



好きものは？

愛犬との時間がたまりません！
そして、最近はバスケットボール以外にも冬のスポーツ、アイススケートにハマっています！

HOW ABOUT

車いすバスケットボールってどんなスポーツ？

俊敏な車いす操作と巧みなチームプレーが魅せる、熱く戦うパラスポーツ！

車いすバスケットボールは、スピード・技術・戦略が融合した迫力あるパラスポーツです。通常のバスケットボールと同様に5人対5人でプレーし、ドリブルやパス、シュートを駆使して得点を競います。選手たちは車いすを自在に操り、スピーディーな展開や緻密な連携プレーで観客を魅了します。また、障害の程度に応じた持ち点制ルールがあり、多様な選手が同じコートで活躍できるのも大きな特徴です。



INTERVIEW**今回の授業で一緒に考えて欲しいこと****三元選手から考えてもらいたいメッセージを記載****— 三元選手にとって障がいってどういうものだと思いますか？**

みんなが思う障がいは車いすだったり体が不自由な事ってイメージかな？僕が思う障がいって自分が出会った困難や壁だと思うな！アメリカに挑戦した時、初めは英語が話せなかつたので苦労したのが痛感した壁だったよ！

— あなたは壁にぶつかった時にどう向き合いましたか？

沢山悲しんだり悔しがったりする。でもそれだけじゃなくて、壁にぶつかるのは今の自分には少し難しいことにチャレンジしている証拠だから、自分を沢山褒めてあげたり励ましてあげています！

— 今回の授業をきっかけにみんなに考えてもらいたいとこはありますか？

チャレンジして壁にぶつかった時、どうすれば乗り越えられるのかを考えてみよう！そして自分が次に出来ること、しなければならない事を考えて、実行してみてみよう。次の壁にぶつかっても、どんどん新しい自分にバージョンアップして行こう！

皆さんもこの機会に、“あなたにとっての障がい（壁）”って何か考えてみよう！

きっと正解はこれからみんなが生活していく中で見つかるものかもしれませんね

NOTICE**三元大輔選手の活動をもっと知ってみよう！****授業だけで三元選手の事を知ることができなかつたみなさんはこちらもチェック！**

もっと選手のことを知りたい方は、活動の様子やインタビュー記事をぜひチェックしてみてください！センターポールの公式サイトでは、パラアスリートたちのプロフィールや競技への思い、イベント情報などを掲載中。さらに、選手本人のSNSでは、日々のトレーニングや試合の舞台裏など、リアルな姿が発信されています。応援の一步を踏み出そう！

**REQUEST****ぜひアンケートにご参加ください****パラスポーツで社会をもっとポジティブに！皆さんのご意見をお聞かせください。**

私たちセンターポールはパラアスリートと一緒にパラスポーツでみんながスポーツを楽しめる社会を目指しています！今回の授業に参加して「こんな制度があつたらいいな」「こんな話が印象に残った」など、あなたの意見をぜひ聞かせてください！

■回答方法 画像のQRコード「アンケートフォーム」から

■回答締切 2026年3月末まで

■対象 交流授業にご参加いただいた企業、教員、保護者の皆様

[アンケートフォーム](#) ➞

